

(様式第4号)

上田市人権尊重のまちづくり審議会 会議概要

1	審議会名	上田市人権尊重のまちづくり審議会
2	日 時	平成29年7月25日(火) 午後2時から午後3時30分まで
3	会 場	上田市中央解放会館 2階 大会議室
4	出席者	金井会長、小沼副会長、丸山委員、大久保委員、小宮山委員、山本委員、成沢委員、橋爪委員、塚田委員、上田委員、柄澤委員
5	市側出席者	(市長部局) 柳沢人権男女共同参画課長、加部人権男女共同参画課長補佐、市川主査 (教育委員会) 唐澤生涯学習・文化財課人権同和教育政策幹、堀内生涯学習・文化財課長補佐
6	公開・非公開等の別	公開
7	傍聴者 0人	記者 0人
8	会議概要作成年月日	平成29年7月25日

協 議 事 項 等

- 1 開会 (加部人権男女共同参画課長補佐)
- 2 あいさつ (柳沢人権男女共同参画課長)
- 3 新任委員紹介<資料1> (柳沢人権男女共同参画課長)
- 4 事務局職員自己紹介<資料1>
- 5 会議事項 上田市人権施策基本方針(第一次改定)の推進状況<資料2>
 - ・ 金井会長あいさつ
 - ・ 以降、金井会長が議事進行を行う。事務局説明(柳沢課長)

質 疑 等

(1)女性

【意見】なし

(2)子ども

【質問】(委員) 相談・支援の充実で、1,405件の相談活動や学校訪問、家庭訪問を行っている。「ふれあい教室」を含めて、その詳細を知りたい。

【意見】(委員) ふれあい教室は、学校に通えない子ども達が対象で、中間教室というものです。各ふれあい教室の職員が、朝9時からスタートして午後3時頃まで、或いは午前10時頃からスタートして午後2時ぐらいまで、或いは午前中だけ、午後だけという形で指導しております。なお、上田市では、中間教室(ふれあい教室)に出席した児童・生徒は登校扱いとしている。

(3)高齢者

【質問】(委員) 高齢者住宅の「緊急通報装置」の設置及び利用料はどのような状況になっているのか。

《回答》(事務局) 緊急通報装置は、申請に基づいて設置している。

【意見】(委員) 65歳以上の一人暮らしの方が対象になる。本人の希望により、それぞれの地区の民生委員さんに申請いただいている。利用料は通常500円です。また、機能として、本人が具合が悪くなったときにボタンを押すと警備会社に通じ連絡が取れる。また、状況に応じて警備会社から消防に通報するか、隣近所の設置者に連絡するなどの措置が取られる。

(4)障がい者

【質問】(委員) 上田市では、文章中の「障害者」の「害」という字をひらがなの「がい」と

しているが、どのような理由で、ひらがなの「がい」としたのか。

《回答》(事務局) 上田市では、障害の「害」という字をひらがなの「がい」として統一をしております。特に法律等に明記されているものではないが、「障害」の「害」という字が、印象の悪さ、負のイメージから不快感を覚えるなどの意見から、「害」の字の表記を変えろということ、通常、固有名詞として使用しているものについては漢字を使用するが、「障害者」というように人の状態を表す場合で、ひらがなの「がい」を使用するようにしている。

(5) 同和問題

【質問】(委員) 未だに結婚問題という同和問題があるのか。

【意見】(委員) 私が県の人権啓発センターに勤務していたとき、実際に県下の地方事務所単位で同和に関係して皆さんと対話集会をもち、実際に同和問題の集落に行き、いろいろ話をしてきた中で、切実な問題として皆さん訴えておりました。現実にも、役員の息子さんや娘さんが適齢期にきている方が多いのですが、その人たちが、今矢面に立たされて結婚ができないという現状にある。地方事務所や、市町村でも受け皿はあるんですが、そういったところで、相談ができなくて泣き寝入りしてしまうという方が現実にも多い。最終的に話が進んでいくと、ある程度のところまで理解してくれるのは父親の方で、最後まで縦に首を振らないのは、母親の方が多いと聞いている。本当に今切実な問題である。

(6) 外国人

【質問】なし

(7) 犯罪被害者等

【質問】なし

(8) インターネットによる人権侵害

【意見】(委員) 子供たちの中では広く普及し、親としても、とても気になる場所である。参観日での講習会等を親も子供と一緒に聞くと、家に帰って「あの時、先生こう言ってたね。」という非常に中身の濃い話ができる。よって、できるだけ親子参加のインターネットに関する講習会等を行っていただくとよいと思う。

(9) さまざまな人権侵害

【意見】(委員) 刑を終えて出所した人について、犯罪被害者の方について、いろいろ対応されていると思うが、この刑を終えて出所した人は、今全国的に障害者と65歳以上の高齢者が多くなっている。各刑務所で10パーセント以上といわれている。各市町村はじめ、各自治会に、こういった方々が住まわれることがあるので、是非そういった方々を温かく見守っていただけるような体制をお願いしたい。

【意見】(委員長) 性的指向・性同一性障害は、現在、多様化している。性的指向とは、くたいていえば、好きになる性、男性が女性を、女性が男性を好きになる。また男性が男性を、女性が女性を好きになる、或いは男性も女性も両方好きになるという方もいて、非常に多様化している。

【意見】(委員) 学校では職員の意識改革、そのようなことへの勉強が対象になってくると感じている。文科省からの通知によってそれをもとに職員研修をしている。実際にそれぞれの学校によって該当する子どもたちが、どういう形で現象として表れてくるか別な問題ですが、それは私たちが、どういう個性の子供たちにも対応できるように勉強していくということが、大事なことでありと考えている。

6 その他

- ・【説明】(唐澤政策幹) 平成29年度「人権に関する市民意識調査」の実施について
- ・【お礼】(柳沢課長) 今期任期満了となられる審議員さんへのお礼の言葉

・【事務連絡】（加部補佐）次期審議員選任について

7 閉会（加部補佐）

- * 会議概要は原則として公開します。会議終了後、1週間以内に行政改革推進室へ提出してください。
- * 非公開及び一部非公開としたものについては、その理由を記載してください。